令和８年度第２回学校運営協議会議事録

令和８年 11 月 12 日（木）13 時 30 分～15 時 40 分

司会：副校長

場所：本校会議室他

参加者

住友電気工業株式会社横浜製作所長	岩井　圭子
明治学院大学准教授	佐藤　公
横浜リハビリテーション専門学校担当グループ・主幹	長谷　達也
田谷町内会長	矢島　健司
横浜市立南戸塚中学校長	鈴木　博道
金井高校 PTA 会長	髙杉　洋子
金井高校同窓会会長	森　秀明
金井高等学校長	笠原　昭彦
副校長	長瀬　右文
教頭	諸見里　忠
事務長	増尾　恵子
総括教諭（学習支援グループリーダー）	川本　佳子
総括教諭（生徒支援グループリーダー）	山﨑　滋彦
総括教諭（活動支援グループリーダー）	西川　裕一
総括教諭（キャリア支援グループリーダー）	巻田　洋平
総括教諭（運営整備グループリーダー）	市川　薫
総括教諭（地域連携グループリーダー）	新倉　和彦
教諭（地域連携グループ）	青山　千智
教諭（金井コンパスプロジェクト）	栗原　優弥

〈概要〉

＜授業見学＞

1. 本日の流れ説明
2. 授業見学

＜学校運営協議会＞

1. 会長あいさつ
2. 校長あいさつ

3. 協議

（1）学習支援より

（川本総括）

授業改善のために、10 月から 11 月の間に授業見学月間を実施している。また、より効果的に授業改善を図るために金井コンパスプロジェクト(以下 KCP)を設立し、実施している。

（栗原）

昨年度の初めに、「研究サークル」として立ち上げ、50 周年を迎えた金井高校の 50 年後の教育を見据えてプロジェクトを進めていく予定だったが、完校が発表され、完校までの教育を見据えることとなり、急務となっている。「入学後」「在学中」「卒業後」の 3 つの軸で考えている。
現在は、全校的に指導に課題を感じる「総合的な探求の時間」に焦点を当て、改善を進めている。
現在、1 年生の授業で実際に実施しているが、今後は地域に出向いて調査をしていく。
また、授業改善については、授業観察月間を設け、教員同士も授業を見学しあえるようにしている。各教科で軸を定めて、授業を実施することで、見学をする教員も見学がしやすく、後の研究協議も実のあるものになると考えている

（2）質疑応答

（森　様）

授業見学をすると、どの科目であっても生徒に A3 の紙が配付されていた。学校で統一しているのか。また、数学の授業では、同じ単元を同じプリントで教えていても、教員によって授業の進め方は違っていた。同じ目標を共有し、教員の色が出せていて、とても良いと思った。

（川本総括）

授業プリントは統一しているわけではない。今例に出た情報科のプリントのように、目標を書く欄をプリントに示すなど、見習いたいと思った。

（森　様）

全 HR 教室に設置されている電子黒板など、ICT が導入されているが、教員によって使い方が違っていた。授業に合わせて使っていてとても良いと思った。

（佐藤　様）

授業を見学すると、1 年生は隣同士で教え合うような授業が多く、2 年生は問題を解き、先生の指示がなくても教え合う様子が見え、金井高校での成長の段階を見ることができた。
総合探究の時間では、軸をいかに絡めていくのかが、「教科横断」を実現するために必要だと思う。

（栗原）
1 年生は、探究のサイクルをどう回すかについて学んでいる。2 年生では、地域に出向いて探究し、最終的には地域への提案書を出すことを見据えている。そのために、現在 1 年生は、身の回りの困りごとを探究している。地域に協力してもらうために、昨年は近隣の施設に教員が挨拶に行き、お願いに伺った。

（巻田総括）
生徒たちは、半径 3m 以内を「身の回り」と捉えがちであるため、スモールステップを踏んで視野を広げられるように考えている。3 年生では卒論を書く。

（校長）
年度初めには、住友電工から 10 名ほどの社員さんにお越しいただき、1 年生へ向けて、「働くこと」「仕事」についてご教示をいただいた。いくつかの教室を見たが、どの教室でも、「挨拶は人間関係を築くために大事だ」とお話しされていた。

（青山）
教員ではない方から、働くことなどについてお話をしていただいて、生徒たちはとてもよく聴いていた。生徒たちにとって、自分の将来について考えるとても貴重な時間だったと思う。

（岩井　様）
高卒で入社し、現在リーダーとして活躍する若手の社員も金井高校へ送ったが、「自分が誇りを持って働いていることについて話すことができて良かった」という感想を聞いた。私にとっても嬉しかった。

（長谷　様）
昼食を食べた後で、日差しが心地よい時間の授業にも関わらず、生徒がよく起きていた。本学では、午後の座学の授業になると、眠くなってしまう学生が多い。
授業見学をすると、静かに話を聞いている生徒が多かった。また、プリントをロッカーから探している生徒がいた。本学では、教授の問いかけに対して話し合う学生が多い。ポートフォリオのようにプリントが積み重ねられるように、きちんとプリントを管理して欲しいと思った。
教員は、きちんと伝わっているかを確認するために、理解を図るような問題を出題し、確認している。現代の子どもは、クラスの中で発表することが難しい。それを解消するために、発表までに段取りをつけると、時間がかかってしまう課題がある。
授業改善に取り組んでいるとあったが、学校全体としての目標や、教育の軸を定めて、授業改善に取り組むことが重要だと考える。

（川本総括）
現在、教科ごとに指導の軸を作っているが、アバウトであったと振り返る。全員が同じ方向に向かうことは難しいが、方向性をより狭く絞るべきだった。

（鈴木　様）
授業見学をし、生徒が真面目だということがとてもよくわかった。眠くなってしまうタイミングで、粘り強く、ワークシートの空欄を埋めるなど、よく頑張っていた。ひたむきさをとても感じた。廊下には、行事での生徒の弾けた様子が掲示してあったが、授業では全く異なる様子が見られた。
先日、初任者研修で新採用 3 人が本校へ来て、新たなことを学んだと言ってくれた。授業改善のために、自分が経験してきた授業から離れ、若い先生の授業やアイディアを取り入れることも有効だと思う。
KCP について、教科の勉強以外にも、教科横断的な学習を通して、生きていく力を身につけるために、金井高校をとてもいい学校だと思う。

（矢島　様）
ICT(電子黒板)に驚いた。社会の基盤となる学校から変化しているのだと感じた。学校の中に入って、様子を見ることができた。地域では、よく吹奏楽部が演奏している様子を見かける。いつも素晴らしいと思っている。

（西川総括）
金井祭で､焼きそばは校内 2 位の売上だった｡地域の方と一緒に仕事をさせていただいた生徒は、授業外でとてもいい経験をすることができた。

（副校長）
金井高校は完校まであと 4 年となった。地域との連携を深めて、生徒に学んで欲しい。学校の外で褒められれば、とても自信になると思うので、是非経験を積んで欲しい。

（校長）
行事の規模や雰囲気は縮小させたくない。そのために、地域の方に校内に入っていただきたい。

（髙杉　様）
金井祭のパンフレットには、焼きそばの販売団体は栄区役所と示されていたが、実際には地域の親しみのある方々がいた。「地域の方がやっている」とわかるように示すとより良いと思った。
授業を見学したが、リズミカルなペアワークが多く、聞くだけではなく、アウトプットをしていた。また、子どもの興味に併せた題材を選ぶなど、工夫をしている先生がいた。
現在中学 3 年生に子どもがいる知人からは「金井を考えている」という声を聞いていたので、校長から志願者数減少について聞き驚いた。私学の授業料無償化の影響もあるのだろう。

（校長）
学力中間層の生徒が私学に流れやすいというデータが出ている。

（鈴木　様）
私立に志願者がながれるということについて実感はある。しかし、再編統合が理由で金井高校を志望しないという声は聞いたことがない。

（校長）
今後も再編統合の流れは続いていくと思う。コロナのタイミングで出生数が減っていたので、その代が高校生になる頃にはまた変化が訪れると思う。

（森　様）
今日我々が見た金井高校の良さが、外部には伝わっていない。金井高校を考えている中学生は学校案内も見るし、文化祭も来る。中学生は、生徒・教員の雰囲気を知りたい。そこを外部に出していくべき。「金井の学びを止めない」のフレーズ、今日出た意見を外部の声として、学校案内に載せる。新採用の先生方の頑張りも学校案内に載せる。行事を報告するだけでなく、そこまでの準備や行事の目標を知らせる等の予告が大切。KCP があることを私も知らなかった。KCP 等についても、やっていることを外部へ発信していくべき。

４　その他
（巻田総括）
探究のワーキンググループから、年明けから近隣の皆様にご協力をお願いしたい。岩井所長、また伺いますが、来年以降もよろしくお願いします。この流れを今後も継続していきたい。